

- ◇開催日時 平成 30 年 2 月 9 日（金）16 時～18 時  
◇会場 橋本市教育文化会館  
◇参加者 森（市教委）、寺本・川西・五十川・上田・堂本・阪本・市平・中谷・中澤

1. 調べて作ろう（上田・堂本）

○ESD の視点：見方・考え方

多様性（食の多様性）・連携性（協力）・責任性（役割）

○価値観

人権・文化の尊重

○能力

協働的行動力

○アドバイス

- ・お雑煮を元に食文化の多様性に気づかせる
  - ・地域差と共通点に気づくことができた。
  - ・自分の家のお雑煮を相対化してとらえることができた。
  - ・食文化の多様性の理由を調べて考えさせる。
  - ・植物を育てる、関わるためには夏野菜の方が効果がある。
  - ・餅つきやお雑煮づくりをしたことで、日本の伝統文化に
- ・関わらせることで愛着もわく 夏野菜は「食品ロス」に発展させるといいのでは  
冬野菜は、伝統文化や食の多様性といった学習に発展させるのがいい。
- ・教材研究の大変さ（餅つき、小豆をたく：ぜんざい）

2. むかしからのあそびにちょうせん（川西）

○ESD の視点

連携性：多様な人と関わることの楽しさ、発表に向けて教え合う

責任性：発表に向けてやりとげる

公平性：

○能力

コミュニケーション力

協働的問題解決力

○アドバイス

国語科との連携：お礼の手紙を書く

振り返りも作文にしてはどうか。

図工との連携：色付け

授業参観で保護者に遊びを紹介して、一緒に遊ぶ。

多様な人との関わり（お年寄り・友達・保護者）

発信を意識させることで学習意欲が高まる

### 3. 私たちの町三石台

自分の町に対する関心が薄いという実態がある。

福祉の視点から地域を見直す

総合・社会・道徳との横断的学習

#### ○ESDの視点

公平性：多様な人が生活する場である地域

ピクトサインづくり（誰が見てもわかる・公平性）

責任性：地域をよりよくするのが自分たちであること

#### ○価値観

人権の尊重

#### ○能力

システムズシンキング：多様な立場の視点でものごとを考える力

クリティカルシンキング：地域を見直す→提案

#### ○アドバイス

ピクトサイン：学校のウェブサイトに掲載する

1年生対象のピクトサインづくり 発信を意識させる

車椅子に乗ることで、改めて坂の多さに気が付いた

スリーピングポリス・点字ブロックが車椅子にはかえって邪魔になる

←すぐには答えが出ない問い

車椅子の前輪が挟まる

地域の車椅子を利用する人にインタビューするといい。切実感が増す。

地元最高！ではない実践。子どもの実態や地域の特徴に即した実践

### 4. 生きものとなかよし（寺本）

生き物の飼育をするには夏前から取り組むべき

生きものを調べる＋詳しい人に聞いてみよう

#### ○ESDの視点

連携性：子どもどうしの教え合い

多様性：いろいろな生き物がいる

#### ○価値観

自然環境とかかわり、つながりを感じることができる。

#### ○能力

#### ○アドバイス

生きものどうしの相互性に気づかせると関心が高まる

3年生の理科につなげるために、生きものが集まりそうなしかけをつくる

同心円の拡大はよいのではないか。

タマゴを産むところまでできれば、命のつながりを学ぶことができる。  
飼育することの意義・命の大切さを知る。命のつながりを知る。  
世話する・責任性、答えのない問い、生きものとのふれあい、育てる楽しさ  
植物・野菜

#### 5. たのしもう あき (市平)

杉村公園：近くにあるのに学習に生かし切れていない (紅葉・木の実)

年間通して、変化していくものに気づかせたい

松ぼっくりをつかってけん玉をつくり、園児たちと一緒にのつくって楽しめた

##### ○ESDの視点

多様性：木の実やはっぱ (よく見るといろいろある)

##### ○価値観

自然環境と自分との関わりを感じることができた (計画通りにいかない)

##### ○能力

コミュニケーション力：園児とのふれあい

##### ○アドバイス

- ・ルーペや単眼鏡 (100均で売ってます) を持ち込むと子どもは夢中になる。関心が高まる
- ・ネイチャーゲームを取り入れる：はっぱジャンケンなどあるので、調べてみて
- ・生活に役立つものとは
- ・山の色の変化を教室掲示する。
- ・ルートごとの違いを紹介し合う。探検の要素を取り入れる。

#### 6・ただ悪いと決めつけていいのかな (中谷)

公害問題を知ってほしい

ロールプレイを取り入れることで、多様な立場の考えを体験させる

生命か生活か

##### ○ESDの視点

クリティカルシンキング (工業の発展と公害問題、雇用の創出)

責任性：日本が世界にもたらしている環境破壊 (生産と消費)

システムズシンキング：工業生産を多様な方面から考え、それが包含する多様な価値とマイナス面に気づき、総合的に考える。

##### ○価値観

##### ○能力

コミュニケーション力

#### 7. 和歌山の鳥メジロから (五十川)

生物の保護への伝達者になってほしい：愛鳥ポスターと作文

メジロについて知ろう 鳥獣保護法 メジロが住みやすい場所を考える

天然林と人工林

総合的な学習と社会、図工の連携

○ESDの視点

- ・相互性：鳥獣保護と森林保護の関わりに気づく  
きれいな空気、水  
県の産業であるミカン栽培・柿栽培、梅栽培との関わり
- 公平性 メジロのいる環境を引き継ぐ

○価値観

- ・自然環境への関わり  
鳥獣保護と

○能力

- ・コミュニケーション力（伝達能力）

※2月末日までに指導案を修正し、森先生にメールで送信してください。

